

がんセンターNEWS

Aichi Cancer Center News

第 35 号

平成23年1月1日発行

発行

愛知県がんセンター

Tel. 052-762-6111(代)

新任医師の紹介



遺伝子病理診断部 菅野 雅人

研究学園都市のあるつくば市の筑波大学より赴任して参りました。がんかどうかを決める仕事、即ちがんの診断が専門です。がんの診断においては皆さんの主治医の傍に必ず僕ら病理医がいます。診断の重さを肝に銘じ、質、精度の高い仕事ができるよう努力を惜しまないつもりです。



消化器外科部 石黒 成治

名古屋大学医学部附属病院腫瘍外科より着任いたしました。根治性と機能温存の両方を目指した直腸がんの手術、転移性大腸がんに対する手術を含めた集学的治療を実践し、一人でも多くの患者さんを治癒、社会復帰に導いていきたいと考えております。



薬物療法部 設楽 紘平

2008年4月より当院薬物療法部レジデントして勤務し、2010年10月よりスタッフの一員として診療に携わるようになりました。がん薬物療法の専門家として、受診される患者さんに良い治療が提供できるようにがんばりたいと思っております。



形成外科部 神山 圭史

当院レジデント、シニアレジデントを経て2010年11月より形成外科スタッフの一員として診療に携わるようになりました。がん切除後の体の各欠損に対して見た目・機能を術前に近づける再建を目指し、質の高い医療を提供できるように努力していきます。

◆ ◆ ◆ 病院ボランティア募集中 ◆ ◆ ◆

あなたの力を当院の外来患者さんや入院患者さんのために役立ててみませんか？

私ども医療従事者では手の届かない、患者さんの生きる力、患者さんの生活を支えるのがボランティア活動です。「受診のご案内」「庭の草木の手入れ」「写真等の掲示」「図書 の貸し出し」「車椅子の整備」等、現在も多くの方に活躍して いただいています。運用部管理課総務グループの伊藤まで、お気軽にお尋ね下さい。



ボランティアさん車椅子を整備中！

お申込・お問い合わせ先：運用部管理課総務グループ(担当 伊藤)

実験動物を用いた、生体レベルでの 大腸がん分子病態の研究

— 分子病態学部 — 青木 正博

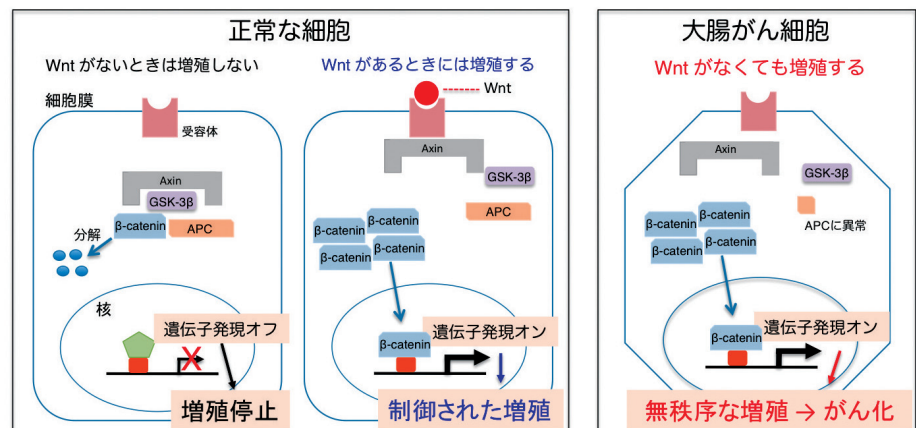
研究所からの報告



分子病態学部長
青木 正博

平成22年12月1日付で京都大学大学院医学研究科から赴任いたしました。分子病態学部では、主に腸管（大腸や小腸）に腫瘍を自然発症するマウスを用いて、腫瘍の発生、さらに悪性化して転移するようになる分子機序を生体のレベルで研究いたします。我々の体は数十兆個の細胞からできていますが、それぞれの細胞は周囲の細胞や環境によって制御されています。例えば「増殖しなさい」という外からの合図を細胞が受け取ると、その信号（シグナル）は細胞内の様々なタンパクを介して核へと伝えられ、その結果、遺伝子の発現が変化して増殖するようになります（下図）。

多くのがん細胞では、このようなシグナルを伝達するタンパクに遺伝子変異による異常が生じるために、周辺環境を無視して勝手に増殖したり周囲へ侵入したりするようになることがわかってきました（右図）。これらの知見を基に、中央病院のみなさんと連携して先進的ながん治療法を開発し、がん患者のみなさんの診断・治療に役立つよう努力を続けてまいります。

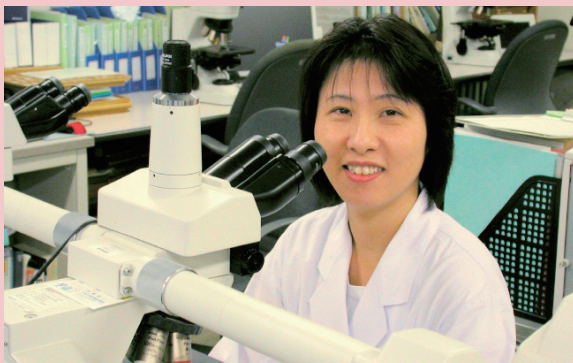


正常な細胞（左の図）では、Wnt（ウィント）と呼ばれる因子がその受容体に結合すると、最終的にβ-cateninというタンパクが蓄積し、核に移行して様々な遺伝子のスイッチを入れて増殖を促します。多くの大腸がん（右の図）では、Wntとβ-cateninの間に存在するAPCというタンパクに異常があるためにスイッチが常に入りっぱなしになることが、がん細胞の増殖につながると考えられています。私たちは、通常は他のシグナル経路で働いているSMOOTHENEDというタンパクがこのWnt経路でも重要な役割を果たすこと、さらにmTORC1というタンパク複合体の活性化が大腸腫瘍の成長に必要なことを見出しています。

スタッフの紹介

臨床検査部

「国際細胞検査士を取得しました！」



国際細胞検査士：尾関順子

細胞診は病変から大きな傷を残すことなく検体を採取し、その中に「がん細胞」がないかを探る臨床検査です。その細胞診を専門とする臨床検査技師が細胞検査士です。細胞検査士になるためには日本臨床細胞学会が実施する認定試験に合格して初めて資格が与えられます。国際細胞検査士はその上でさらに厳しい試験によって与えられる資格です。知識と経験を積み「がん細胞」を見逃さないよう先輩技師の指導の下、日々努力しています。

中央病院からの報告

肝細胞癌に対するIVR治療

—放射線診断・IVR部— 稲葉 吉隆



放射線診断・IVR部長
稲葉 吉隆

肝細胞癌の標準的治療は切除、局所療法、塞栓療法とされていますが、肝機能障害の程度やがん病巣の進行度により治療法が選択されます。

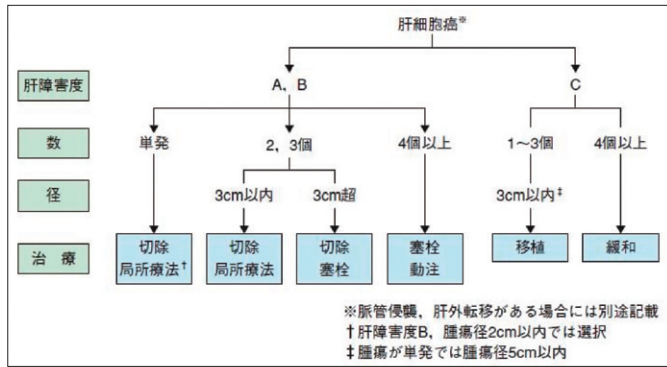
局所療法は経皮的直達療法とも称され、経皮的に直接病変を治療専用針で穿刺して行います。電気の熱により凝固するラジオ波焼灼療法が代表的な局所治療です。塞栓療法はカテーテルを大腿動脈から肝動脈まで挿入して、病巣部に抗がん剤と血流を止める塞栓材を注入する治療法です。塞栓療法は局所療法よりも広範な治療に対応できます。局所療法と塞

栓療法はともに画像誘導下に行うIVR治療であるため、当院では放射線診断・IVR部で行っています。また、病変の状態によっては局所制御を高めるため、肝動脈化学塞栓療法とラジオ波焼灼療法を併用することもあります。

他にも、がんの進行のため切除、局所療法、塞栓療法が適応とならない場合には抗がん剤を肝動脈から直接注入する肝動注療法や全身化学療法を行いますが、治療方針の決定に際しては的確な画像診断が重要となり、そのための各種画像診断も放射線診断・IVR部で対応しています。

※“IVR”とは、画像（X線透視、超音波、CT、MRIなど）ガイドにより、経皮的にカテーテルや、穿刺針を利用して行う治療のことです。

肝細胞癌の治療指針



「科学的根拠に基づく肝癌診療ガイドライン」より引用

肝がんに対するIVR治療件数

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
肝動脈塞栓療法	210	230	215	222	214	205
肝動注化学療法	62	84	86	92	80	108
肝動注リザーバー設置	49	44	42	45	38	31
ラジオ波焼灼療法	18	14	17	26	18	30
血管造影検査	345	392	376	377	384	382

◆ 診察医の紹介 ~呼吸器内科部~

呼吸器内科部では、急増する肺がん、胸膜中皮腫などの呼吸器腫瘍の診断と内科治療を行っています。肺がんは日本人のがん死亡の第一位を占める難治疾患ですが、肺がんの原因である遺伝子異常の解析も進んでいます。最新の肺がん治療では、患者さん個々の腫瘍の遺伝子発現情報に基づいた治療の個別化が重要であると考えられ、チームを組み患者さんに最新で最良の治療が提供出来るように頑張っています。



左から 吉田 公秀医長、朴 将哲医長、樋田 豊明部長、堀尾芳嗣外来部長、清水淳市医長

主な診療案内

平成23年1月1日現在の中央病院外来診療担当一覧です。

受付時間：午前8時30分から午前11時30分まで

(自動再来受付機) 午前8時から午前11時30分まで

診療科	月	火	水	木	金
総合初診	波多野	樋田	山雄	森島	丹羽
消化器内科	山雄(初診) 原・田近・河合 丹羽	山雄(初診) 澤木・水野(伸) 河合	山雄(初診) 澤木・原・近藤	澤木(初診) 丹羽・田近・脇岡 赤羽・佐伯	丹羽(初診) 田近・水野(伸) 河合
呼吸器内科	吉田(公)(初診) 堀尾(再診)	吉田(公)(再診) 朴(禎)(初診・再診) 樋田(初診)	清水(洋)(初診) 樋田(再診)	堀尾(初診) 朴(禎)(初診・再診) 清水(洋)(再診)	(交代制) 樋田・吉田(公)・堀尾 清水(洋)・朴(禎)(初診)
循環器	波多野			波多野	
血液・細胞療法	田地(再診) 山本(初診)	森島(初診・再診) 山本(再診)・大野(随時) 小野田(再診)	田地(再診) 森島(初診・再診) 牛島(再診)	森島(初診・再診) 山本(再診)	田地(初診) 小野田(再診)
薬物療法	室・設楽 花井・長谷川	宇良・高張・横田	室・高張(予約のみ)・設楽 長谷川 兵藤(午前のみ)	宇良・近藤(干)・横田 小澤 平川(第1・3予約のみ) 花井(第2・4予約のみ)	室・高張・設楽・横田 平川
頭頸部外科					
形成外科	兵藤・神山		兵藤	兵藤	
胸部外科	安部・伊藤(志)	福井・光富(予約のみ)	伊藤(志)	光富・波戸岡 伊藤(志)・篠田	光富・伊藤(志) 篠田・波戸岡
乳腺科	岩田・藤田(初診) 林(裕)(再診)	岩田(再診)・藤田(再診) 服部(再診)・近藤(初診)	岩田・服部(初診) 堀尾(再診)・近藤(再診)	岩田(初診)・藤田(再診) 林(裕)(再診)・近藤(再診)	岩田・藤田(再診) 林(裕)(初診)・服部(再診) 堀尾(再診)
消化器外科	小森(康司) 伊藤(誠)(第1・3・5) 三澤(第2・4)	三澤・金光 千田(皮膚科診察室)	小森(康司) 伊藤(友)・清水(泰) 二村・山村(第3)	佐野・伊藤(誠) 石黒	服部(再診)(予約のみ)
整形外科	山田・杉浦・濱田	杉浦	山田		杉浦・山田
泌尿器科	林(宜)(初診)・小倉 脇田(予約のみ)		脇田・小倉(初診)		林(宜)・脇田(初診) 小倉(予約のみ)
婦人科	吉田(憲)(初診)	中西(初診) 河合(要)(初診) 広沢	河合(要)(初診)	中西(初診) 吉田(憲)(初診) 河合(要)(初診)(第1・3・5)	中西(初診)・広沢
放射線診断科	稲葉(初診)・金本		稲葉(初診)・山浦	佐藤	稲葉(初診)・加藤
放射線治療科	古平(初診)・古谷(再診) 富田(再診)	古谷(初診)・古平(再診) 立花(再診)	立花(初診)・古平(再診) 古谷(再診)・富田(再診)	古平(初診)・古谷(再診) 富田(再診)	富田(初診)・古平(再診) 立花(再診)・古谷(再診)
専門外来	リンパ浮腫外来 兵藤(伊)(第2・4)		ペインクリニック 木村(午後のみ)	禁煙外来(予約のみ) 尾瀬・川北・田中 伊藤(秀)	リンパ浮腫外来 岩田(博)(第1) 平井(正)(第2・4)

※ 医師名の後の数字は、月の週を表します。

※ 変更(休診)等がございますので、お電話でご確認ください。

※ 再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。 052-764-2911(直通) 午前9時～午後5時(土・日・祝・年末年始除く)

交通のご案内

地下鉄利用：「自由ヶ丘」②番出口から 徒歩7分

◎名古屋・栄から 所要時間：名古屋から約30分
東山線「藤ヶ丘」行き乗車、「本山」乗り換え、
名城線「左回り」乗車、「自由ヶ丘」下車。

◎金山・栄・大曽根から 所要時間：金山から約35分
名城線乗車、「自由ヶ丘」下車。

市バス利用：「千種台中学校」下車 徒歩4分

◎名古屋駅から 所要時間：名古屋駅から約40分
基幹2系統「光ヶ丘」または「猪高車庫」行き乗車、
「千種台中学校」下車。

◎星ヶ丘から 所要時間：星ヶ丘から約20分
星丘11系統「地下鉄自由ヶ丘」行き乗車、
「千種台中学校」下車。